

ゲニステイン、ダイゼイン、ルテオリンの分析

植物に含まれているフラボノイド（フラボン、イソフラボン、フラボノール）は、さまざまな生理的役割を担っています。

イソフラボンであるゲニステインは、癌細胞の増殖に対する阻害作用がありダイゼインと同じく豆腐、納豆、味噌、醤油に含まれており、フラボンであるルテオリンには調理した魚などで誘発される変異原性の保護活性があるという報告があります。

下図に、酢酸水溶液/メタノールを溶離液としたグラジエントによるこれら 3 種のフラボノイドのクロマトグラムを示します。

測定条件

カラム：T S K g e l O D S - 8 0 T s (4.6mmI.D. x15cm)

溶離液：A液 H₂O / CH₃COOH / CH₃OH = 90 / 5 / 5

B液 H₂O / CH₃COOH / CH₃OH = 5 / 5 / 95
30分

A液 ————— B液 (80%)

流速：1.0 ml/min 温度：40℃ 注入量：20ul

試料：1. ダイゼイン、2. ルテオリン、3. ゲニステイン (各 10ug/ml)

検出：UV (254nm)

装置構成

CPCM-II, UV-8020, CO-8020, AS-8020, SC-8020

